

○財務諸表及び収支計算書等に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について
商品……定額法による減価償却を実施している。
- (2) 固定資産の減価償却について
什器備品……定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準について
退職給与引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲について
資金の範囲は、現金預金、未収金・未払い金、前払金・前受金、立替金・預り金、受取手形、未収会費、有価証券、支払手形及び短期借入金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載されるとおりである。
- (5) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
貸付信託	0	0	0	0
金銭信託	0	0	0	0
普通預金	4,404	161	0	4,565
定期預金	1,900,790	0	0	1,900,790
小計	1,905,194	161	0	1,905,355
特定資産				
退職給付引当資産	1,000,000	0	0	1,000,000
減価償却引当資産	0	0	0	0
50周年記念事業積立資産	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
小計	3,000,000	2,000,000	0	5,000,000
合計	4,905,194	2,000,161	0	6,905,355

3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高	(単位:円)
現金預金	3,538,631	2,986,963	
売掛金	229,836	315,827	
未収会費	0	0	
未収金	24,000	0	
前払金	0	0	
立替金	0	180	
未収入金	0	0	
合計	3,792,467	3,302,970	
買掛金	7,200	0	
未払金	558,539	591,735	
前受金	0	0	
預り金	463,405	245,578	
合計	1,029,144	837,313	
次期繰越収支差額	2,763,323	2,465,657	

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	(単位:円)
什器備品	333,825	333,823	2	
合 計	333,825	333,823	2	

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
貸付信託	0	(0)	(00)	(0)
金銭信託	0	(0)	(00)	(0)
普通預金	4,565	(0)	(4,565)	(0)
定期預金	1,900,790	(0)	(1,900,790)	(0)
小計	1,905,355	(0)	(1,905,355)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(1,000,000)
減価償却引当資産	0	(0)	(0)	(0)
50周年記念事業積立資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
小計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(1,000,000)
合計	6,905,355	(0)	(6,905,355)	(1,000,000)